

吉祥寺 KICHIJOJI パークエリア

第5号

きちば未来通信

開催報告

対話の場「第1回 きちば未来会議」を開催しました！



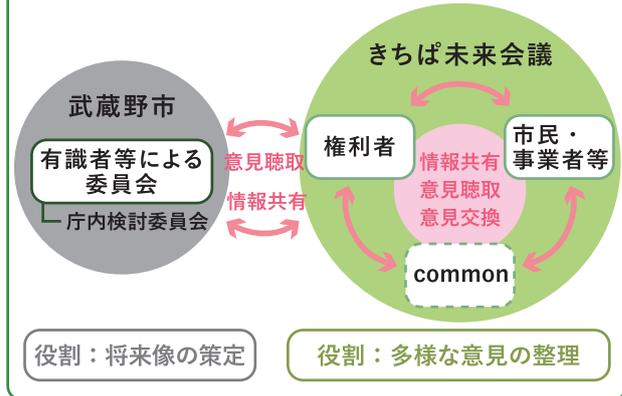
きちば未来会議とは

「きちば未来会議」は、吉祥寺駅南口から井の頭恩賜公園に至る吉祥寺パークエリアの「まちの将来像」の策定に向け、市民・地権者・事業者・関係団体など多様な立場の方々にご参加いただき、意見交換等を行う場です。将来にわたって様々な人が親しみ、集い、活気と魅力があるまちであり続けるため、パークエリアのまちづくりに対する多様な意見を整理することを目的としています。

会議で出された意見は、武蔵野市で試行実施中のデジタルプラットフォームアプリ「common」を通じて集まったコメントと合わせ、「まちの将来像」を検討する際の貴重な地域の声として整理し、今後設置予定の有識者等による委員会での議論につなげていきます。

第1回目となる今回は、3月8日(日)に武蔵野商工会館市民会議室にて開催し、58名が参加しました。市長の挨拶から始まり、まずパークエリアの現状、近隣のまちとの比較、これまでの取組等について学んだ後、参加者同士で意見を出し合うグループワークを実施しました。

きちば未来会議の位置付けと役割



きちば未来会議の進め方

- STEP1 まちの現状を知る・意見を共有する
[第1回] 大切にしたいもの
[第2回] こうなったらいいもの
- STEP2 望ましい姿を想像する [第3,4回]
- STEP3 STEP1・2で出てきた意見を整理する [第5回]
- STEP4 まちの未来を想像する [第6,7回]

グループワークで出された

「パークエリアで大切にしたいもの」をご紹介します！

第1回のテーマは「パークエリアで大切にしたいもの」。参加者それぞれがパークエリアでの印象的な体験や思い出を振り返り、カードを使って「いつ・誰と・どこで・何をして・どのように感じたか」といった具体的なエピソードを整理し、発表しました。

印象的な体験等が生まれた背景や要因について意見交換し、様々なエピソードをグルーピングしていく共同作業を通じて、今後も大切にしていきたいパークエリアの魅力や価値について、参加者同士で共有しました。

各グループで共有された140件以上のエピソードの中から、いくつか抜粋してご紹介します。



終了後は参加者から、「市民、事業者、権利者など立場や経験の違う方との意見交換ができ、とても有意義だった」「自分の感じていた吉祥寺の印象と他の方の印象が異なり、新たな気づきがあった」「ワーク時間が足りないと感じるくらいあっという間だった」といった声が寄せられ、立場の異なる参加者同士で意見を共有できたことを評価する意見が多く見られました。

また、「意見を出しやすい和やかな雰囲気だった」「次の会議も楽しみ」といった声もあり、今後の会議への期待も寄せられました。

今回の「パークエリアで大切にしたいもの」で出された意見を踏まえながら、次回は「パークエリアでこうなったらいいもの」をテーマとして、変えていく必要があるものについて意見を出し合う予定です。



MUSASHINO CITY

吉祥寺パークエリア KICHIJOJI PARK AREA **きちば未来通信**

発行者

武蔵野市 総合政策部 資産活用課 都市機能再構築担当
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 ☎0422(60)1982

2026年3月23日発行

第5号